

(2) 利用状況調査

1) 文化会館利用状況調査

平成 29 年度～平成 31 年度の「白井市文化会館施設利用実績統計一覧」等から、文化会館の利用状況を整理した。

① 入館者数

【表 9 利用状況（直近 3 か年）】

	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	令和 30 年度 (2018)
開館日数	294	281	286
入館者数	69,677	63,565	67,381

② ホールの利用ジャンル

利用ジャンルの分析にあたり、ホールで行われる様々な活動を次のように分類する。

なお、グラフはデータを四捨五入しているため、内訳の合計が 100%にならない場合がある。

【表 10 施設利用ジャンル・活動の分類】※1

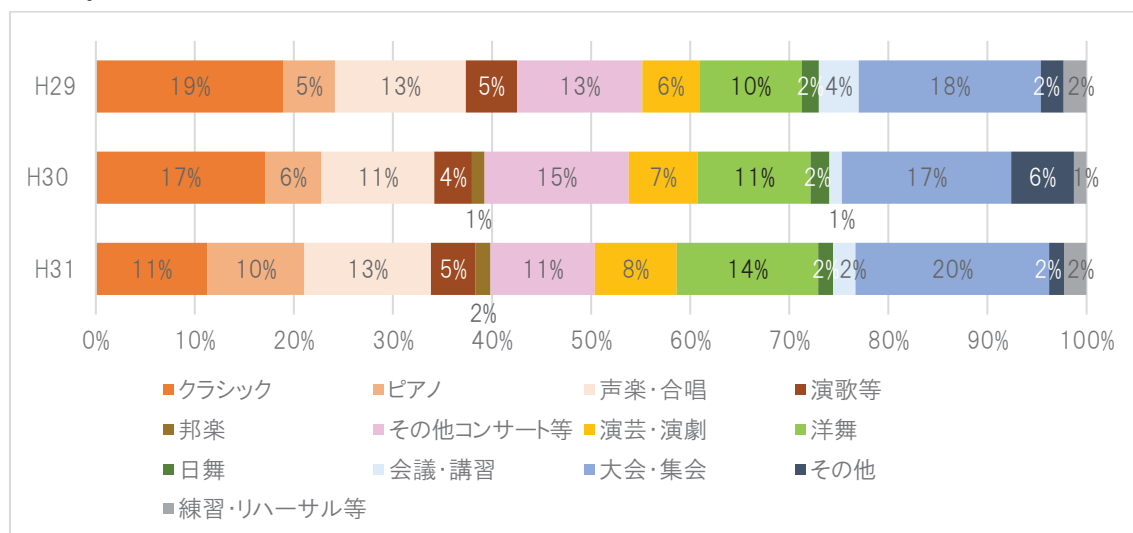
ジャンル		活動
音楽	クラシック	交響楽・管弦楽、吹奏楽、クラシック
	ピアノ	ピアノ演奏会・発表会、ピアノ・バイオリン
	声楽・合唱	合唱・コーラス、独唱
	演歌等	演歌・歌謡、カラオケ
	邦楽	琴・三味線・大正琴、詩吟※
	その他コンサート等	コンサート、ジャズ・タンゴ、その他楽器演奏、その他音楽会
演劇・舞踊	演芸・演劇	演芸、落語、古典芸能、演劇
	洋舞	クラシックバレエ、ジャズダンス、ヒップホップダンス、洋舞
	日舞	舞踊、邦舞
会議・集会	会議・講習	会議、説明会、学級・講座、研修、講習、相談会
	大会・集会	講演、学会・研究会、式典、記念行事、大会・総会、追悼式、おゆうぎ会、選挙・個人演説、公演・発表会、その他イベント
その他	その他	ストレッチ体操、芸能発表、テレビ・ラジオ、録音・録画
練習・リハーサル等	練習・リハーサル等	控室、練習、仕込み、リハーサル

※1 利用ジャンルの分類は、平成 29 年度～平成 31 年度の「白井市文化会館施設利用実績統計一覧」をもとに再整理している。

(ア)大ホール

各年とも全体の 5 割程度を音楽系ジャンルが占め、演劇や舞踊とあわせて約 7 割が舞台芸術活動に利用されている。また、全体の 2 割程度が会議や集会等に利用されている。

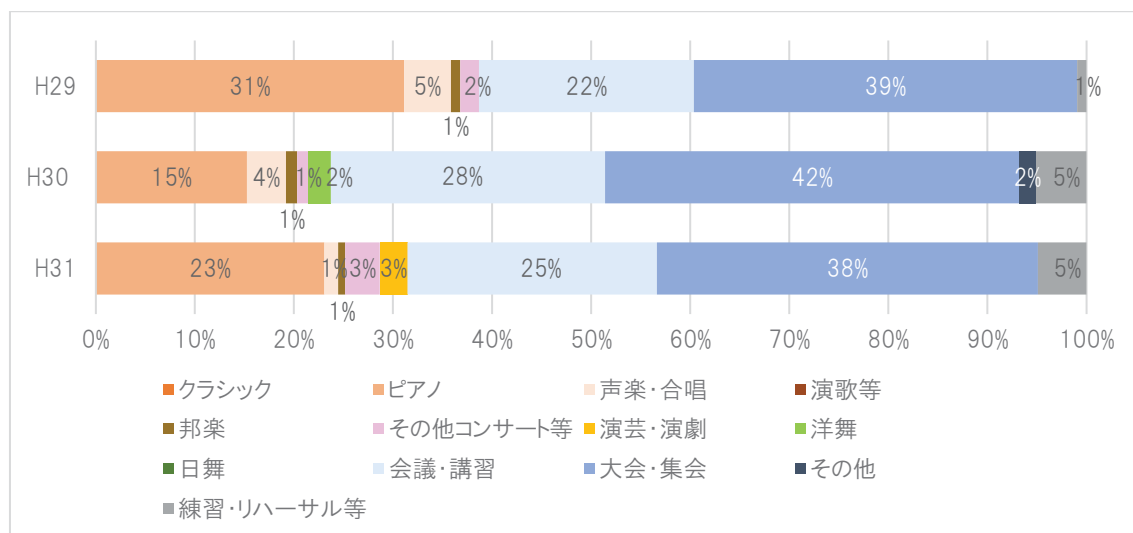
活動別では、平成 29 年度、平成 30 年度は「クラシック」、「大会・集会」が多く見られた。平成 31 年度は「大会・集会」が最も多い結果となっている。また、「クラシック」では『吹奏楽』の利用が多く、「大会・集会」では主に『式典』や『大会・総会』の利用が多い傾向にある。



【図 1 大ホールの利用状況】

(イ)中ホール

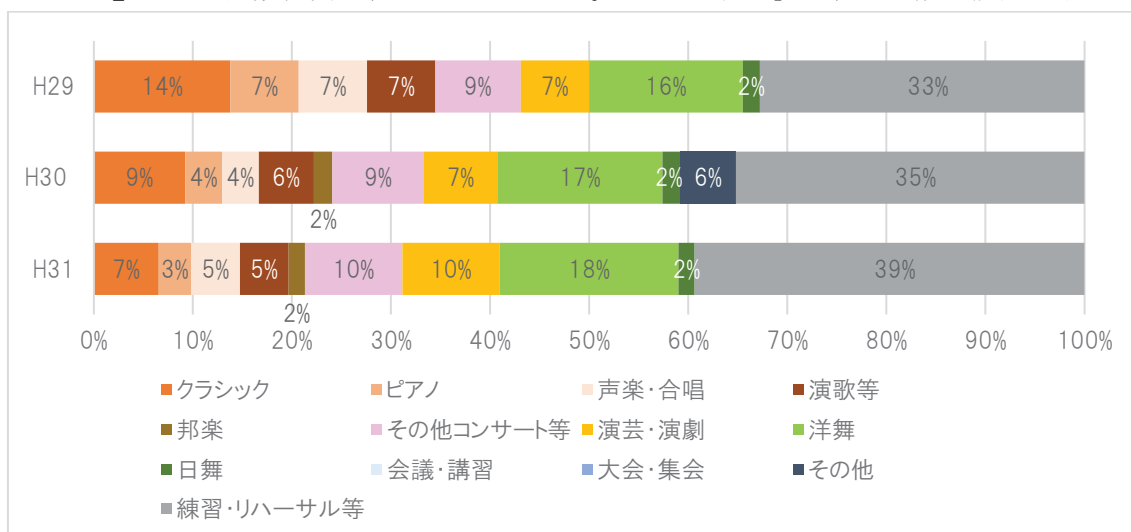
音楽系ジャンルを主体とした舞台芸術活動が全体の 2 割～4 割程度で、会議や集会等の利用が 6 割～7 割を占める。活動別では「大会・集会」が最も多く見られ、「ピアノ」「会議・講習会」と続いている。「大会・集会」は、公演・発表会として利用されることが最も多くっており、「ピアノ」は『発表会』、「会議・講習会」は『研修』のための利用が多く見られた。



【図 2 中ホールの利用状況】

(ウ)第1練習室

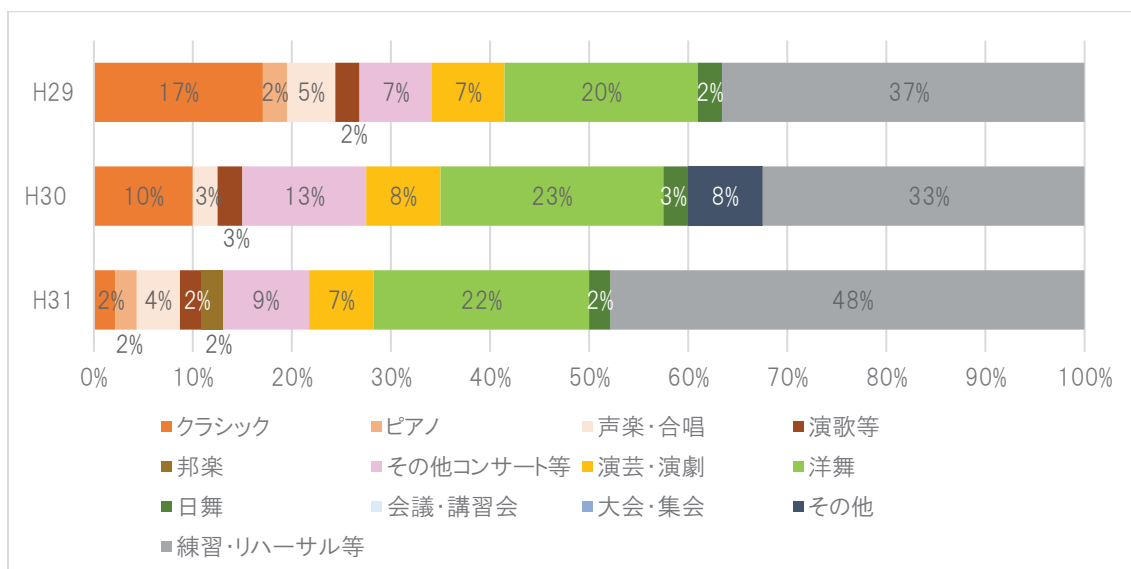
音楽や演劇、ダンス等の舞台芸術活動に多く利用されている。「練習・リハーサル」はほとんどが『控室』としての利用となっている。「洋舞」は、『ヒップホップダンス』『クラシックバレエ』がほぼ同数程度の利用となっている。「クラシック」の利用は減少傾向がみられる。



【図 3 第1練習室の利用状況】

(エ)第2練習室

第1練習室と同様に、「練習・リハーサル」、「洋舞」が多く見られた。「練習・リハーサル」は主に『控室』としての利用である。「洋舞」は『クラシックバレエ』の利用が多く、次いで『ヒップホップダンス』が多い結果となっている。第1練習室と同様、「クラシック」の利用に減少傾向がみられる。



【図 4 第2練習室の利用状況】

③ 利用者分析

利用者の傾向分析にあたり、「白井市文化会館施設利用実績統計一覧」に基づき、種別を次のとおり分類する。市教育部は文化課を含む。

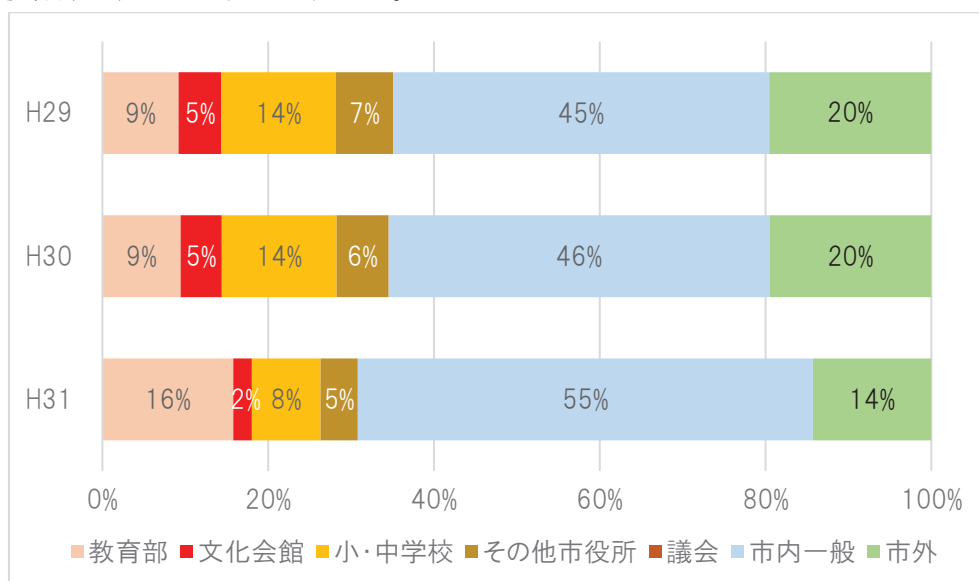
また、併せて使用料の減額・免除（減免）が適用された利用者がどの程度いるかを確認するため、それぞれの種別において減免規定の有無を記載した。

【表 11 分類ごとの減免規定】

分類	備考（減免の規定など）
市教育部	全額免除
文化会館	全額免除
小・中学校	全額免除
その他市役所	全額免除
議会	全額免除
市内一般	各種教室、団体、民間企業等。免除なし
市外	各種教室、団体、民間企業等。免除なし

(ア) 大ホール

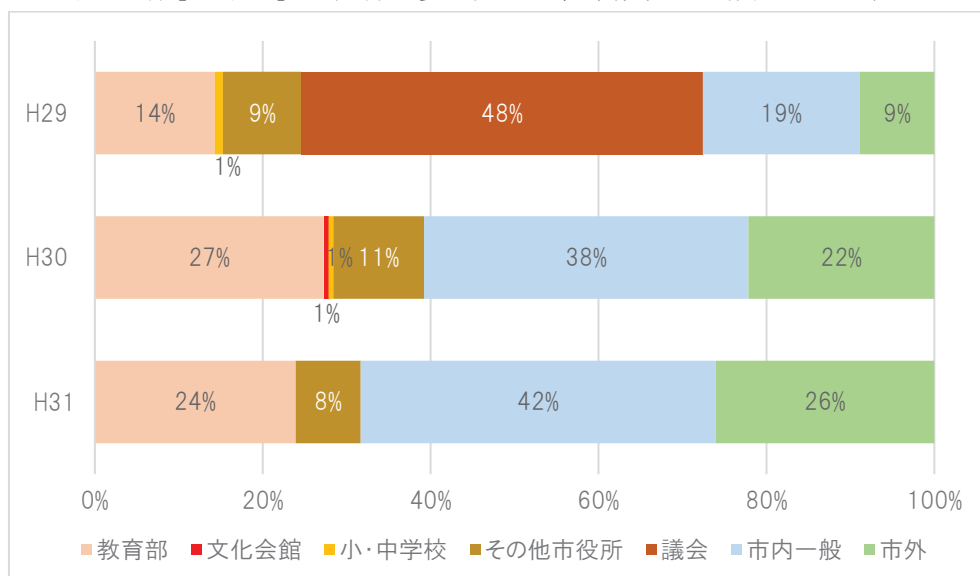
「市内一般」が半数を占めており、「市外」と合わせて7割程度となっている。学校関係、市教育部の利用も2割強を占める。



【図 5 大ホールの利用団体】

(イ)中ホール

平成 29 年度のみ「議会」の利用が半数近くを占めているが、庁内を改築していたため、議場として臨時使用されていたことが要因となっている。平成 30 年度、31 年度は、大ホールと同様に「市内一般」「市外」の割合が多く見られ、半数以上が減免のない利用となっている。



【図 6 中ホールの利用団体】

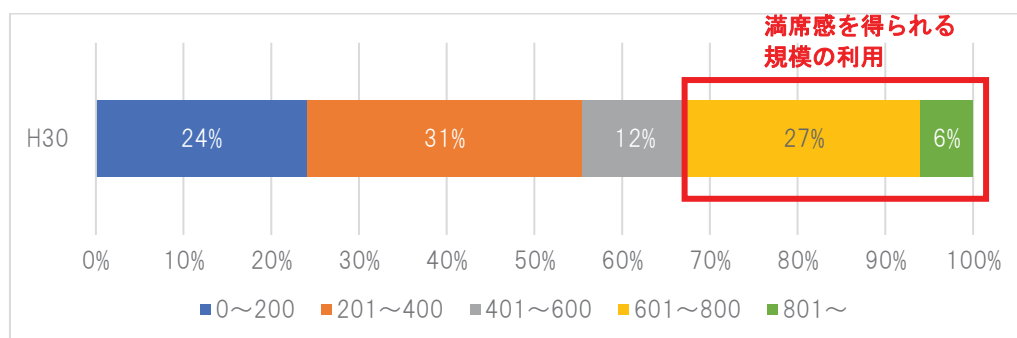
④ ホール客席の占有状況

利用状況をもとに、ホールについてどれくらいの客席が利用されているか調査したところ、次のとおりとなった。

なお、本番の利用状況を把握するため、「練習」の利用人数は集計に反映していない。

(ア)大ホール

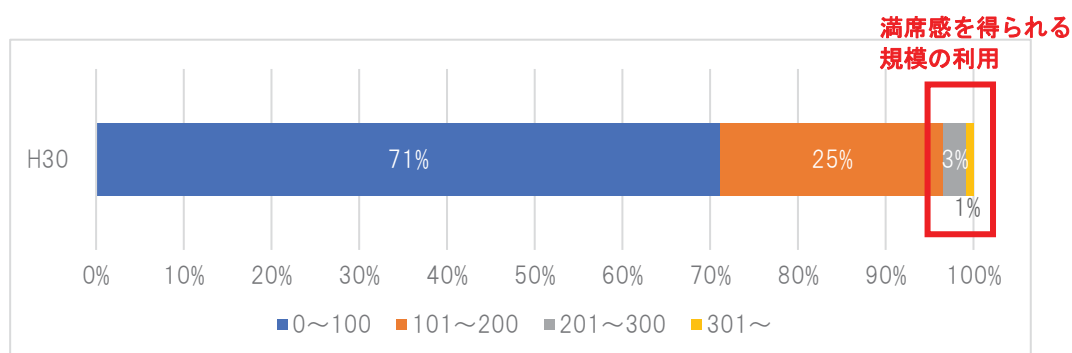
大ホール（802 席）では、600 席以下での利用割合が高く、満席に近い感覚を得られる 601 席以上の利用は 3 割程度となっている。801 席以上の利用は、大会や講演会、秋の歌まつりなど、催事中に利用者の入れ替わりがある場合である。



【図 7 大ホールの占席状況】

(イ) 中ホール

中ホール（定員 300 人）は、100 人以下の利用が 7 割を占め、9 割以上の利用が 200 人以下となっている。



【図 8 中ホールの占席状況】

⑤ 主催事業実施状況

白井市文化会館の平成 29 年度～平成 31 年度における主催事業実施状況は、下表の通りとなっている。会場は全て大ホールが使用されており、クラシックを中心に伝統芸能、演劇、その他ライブなどを実施している。これらのほとんどが鑑賞型の事業となっている。

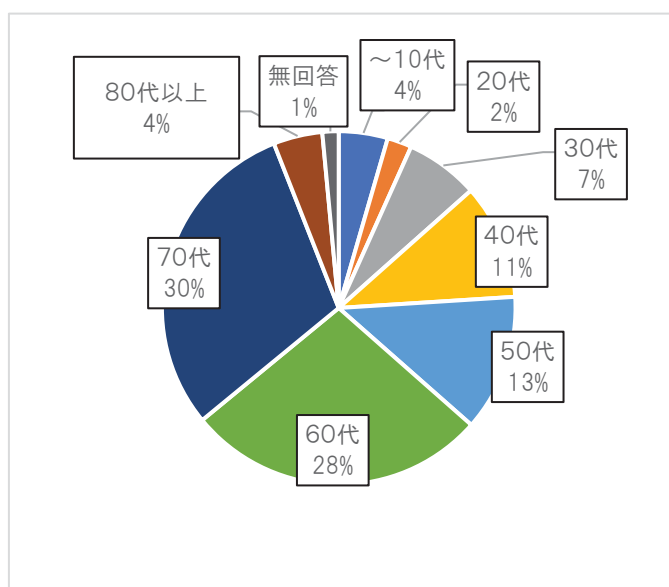
【表 12 主催事業一覧（平成 29 年度～平成 31 年度）】

年度	催し物名	ジャンル	催事分類	入場者数
平成 29 年度	千葉県警察音楽隊コンサート	クラシック	鑑賞	600 人
	江口玲ピアノリサイタル	クラシック	鑑賞	343 人
	オカリナ演奏会	ファミリークラシック	鑑賞	183 人
	高嶋ちさ子と 12 人のヴァイオリニスト	クラシック	鑑賞	796 人
	しろいふるさと大使ライブ	その他	地域振興	629 人
平成 30 年度	千葉県警察音楽隊コンサート	クラシック	鑑賞	600 人
	人気囃家三人会	伝統芸能	鑑賞	587 人
	上原彩子が贈る「くるみ割り人形」(ピアノリサイタル)	ファミリークラシック	鑑賞	332 人
	しろいふるさと大使ライブ	その他	地域振興	710 人
	朴葵姫（パク・キュヒ）ギターリサイタル	クラシック	鑑賞	574 人
平成 31 年度	千葉県警察音楽隊コンサート	クラシック	鑑賞	600 人
	煙が目にしみる	演劇	鑑賞	587 人
	松田華音ピアノ・リサイタル	クラシック	鑑賞	中止

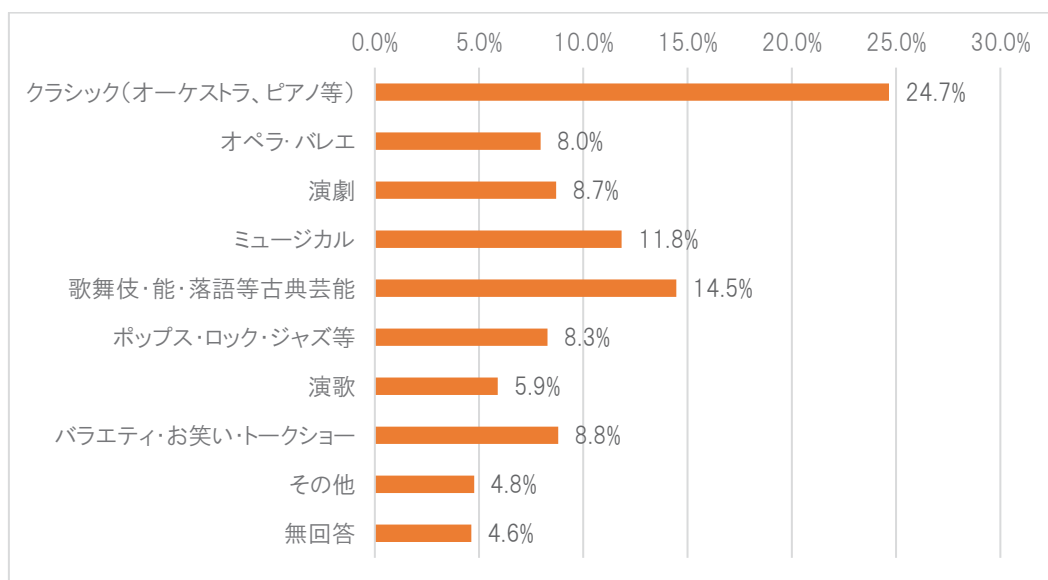
(ア)主催事業入場者アンケート

主催事業アンケートによると、平成 30 年度、31 年度ともに回答者は 60 代、70 代の割合が高く、50 代以上が 75%を占めており、若年層の催事参加が少ないことがうかがえる。

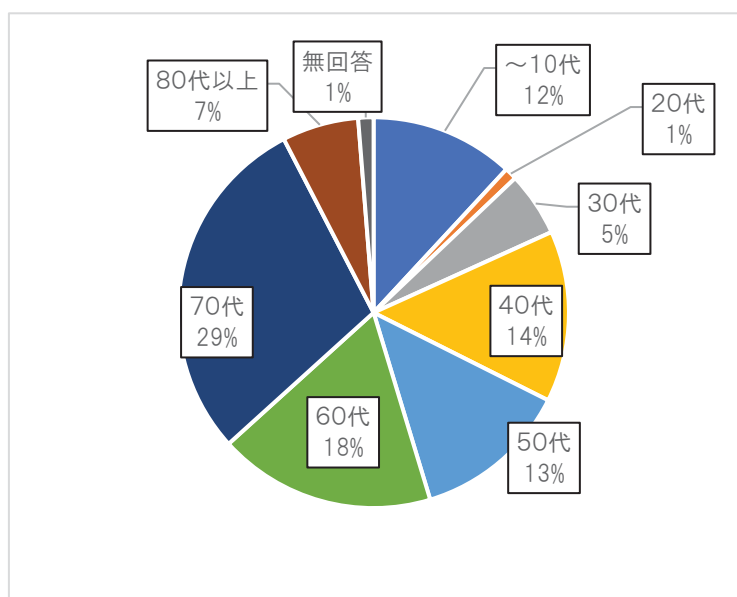
今後の文化会館の主催事業で希望する演目は、平成 30 年度、31 年度ともにクラシックの割合が最も高いが、歌舞伎などの伝統芸能、ミュージカルなども一定数の需要があることが分かる。



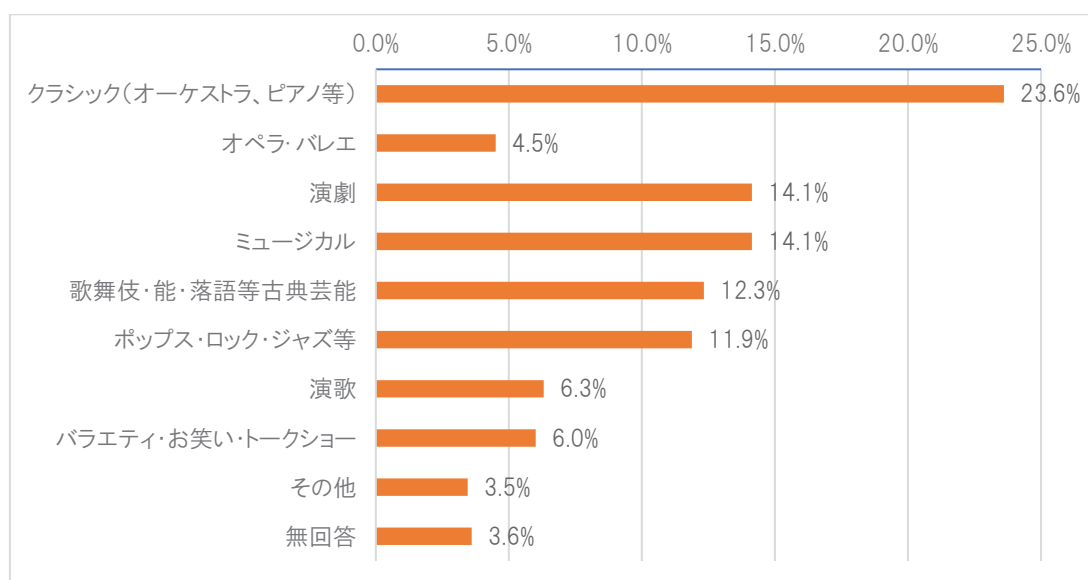
【図 9 平成 30 年度主催事業アンケート 回答者の年齢割合】



【図 10 平成 30 年度主催事業アンケート 今後の文化会館主催事業で希望する演目】



【図 11 平成 31 年度主催事業アンケート 回答者の年齢割合】



【図 12 平成 31 年度主催事業アンケート 今後の文化会館主催事業で希望する演目】

2) 図書館利用状況調査

① 登録・貸出・予約状況等

「令和2年度しろいの図書館年報」より、平成31年度図書館サービス指標に基づき、図書館の利用状況を整理した。

平成29年度からの3年間では、予約やレファレンスを除いて利用は減少傾向にあり、特に入館者数や貸出者数、館内利用での減少が顕著である。これらの要因の1つとして、新型コロナウイルス感染拡大防止のために令和2年3月3日から31日までの間を全館休館とし、予約資料の貸出のみを行ったことがある。

【表 13 平成31年度図書館サービス指標】

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
白井市人口	63,772人	63,555人	63,336人
入館者数	272,476人	257,512人	198,106人
貸出冊数 (団体含む)	468,164冊 (491,229冊)	461,117冊 (483,958冊)	437,246冊 (456,560冊)
市民一人あたりの貸出冊数 (団体含む)	7.3冊 (7.7冊)	7.3冊 (7.6冊)	6.9冊 (7.2冊)
登録者数	20,133人	19,555人	18,414人
蔵書冊数	550,540冊	554,773冊	556,029冊
市民一人あたりの蔵書冊数	8.6冊	8.7冊	8.8冊
予約点数	83,411点	89,959点	99,624点

② 分類別蔵書冊数・貸出冊数

平成29年度からの3年間の蔵書冊数は、55～56万冊程度で推移している。構成比にも大きな変動はなく、9文学が33%程度と最多で、次いで3社会科学の15%程度である。

【表 14 蔵書冊数と構成比】

分類	H29		H30		H31	
	(冊)	構成比	(冊)	構成比	(冊)	構成比
0 総記	17,456	3.2	16,721	3.0	16,595	3.0
1 哲学	19,628	3.6	19,948	3.6	20,119	3.6
2 歴史	51,796	9.4	52,552	9.5	52,944	9.5
3 社会科学	80,449	14.6	82,119	14.8	82,962	14.9
4 自然科学	44,940	8.2	45,919	8.3	45,873	8.3
5 技術	42,702	7.8	43,183	7.8	42,918	7.7
6 産業	20,793	3.8	20,859	3.8	20,278	3.6
7 芸術	44,821	8.1	45,458	8.2	46,251	8.3
8 言語	9,775	1.8	9,849	1.8	9,780	1.8
9 文学	180,727	32.8	180,818	32.6	181,195	32.6
紙芝居	2,022	0.4	2,021	0.4	2,021	0.4
絵本	33,151	6.0	33,055	6.0	32,819	5.9
その他	2,280	0.4	2,271	0.4	2,274	0.4
合計	550,540	100.0	554,773	100.0	556,029	100.0

③ 事業実施状況

図書館における平成 30 年度の事業は以下のとおりとなっている。

実施事業としては、乳幼児から小学生とその保護者までを対象とする事業が多い一方で、大人向けの事業が少なくなっている。通常のおはなし会などの参加者数と比較して、プラネタリウムと連携して開催している「にんさんぷラネタリム with 図書館」や「プラネタリウム合同おはなし会」の 1 回あたりの参加者数は多くなっている。

(ア) 青少年・児童

時期	事業名	対象	会場	参加者数
4 月・5 月	子ども読書の日記念展示	幼児～一般	児童展示コーナー	-
通年	おはなしかい	幼児・低学年	おはなしのへや	112 人
通年	親子おはなしかい	小学校未就学児童とその保護者	おはなしのへや	10 回 39 組 89 人
8 月	プラネタリウム合同おはなし会	幼児～一般	プラネタリウム	81 人
12 月				157 人
通年	にんさんぷラネタリム with 図書館	妊婦・一般	プラネタリウム	4 回 50 人
通年	はじめてであう絵本	4 か月児・保護者	保険福祉センター	24 回 390 人
通年	学校・保育園への配達貸出	市立保育園小・中学校	-	-
随時	図書館ガイダンス	小学生	図書館	6 校 395 人
随時	ゆめ・仕事ぴったり体験	小学 6 年生	図書館	2 校 8 人
随時	職業体験	中学 2 年生	図書館	4 校 11 人
7 月・8 月	夏休みイベント 「くじをひいて、ほんをかりよう！」	幼児～小学生	図書館	35 日間 のべ 1,066 人
1 月	お正月イベント 「おみくじをひいて、ほんをかりよう！」	幼児～小学生	図書館	のべ 76 人
総参加者数		2,435 人		

(イ) 市民協働

時期	事業名	対象	会場	参加者数
7 月・8 月	なつやすみおはなしウィーク	幼児～一般	おはなしのへや	5 回 40 人
6・9・3 月	大人のための朗読会	一般	研修室 2	3 回 150 人
10 月	大人のための朗読会	一般	研修室 2	1 回 31 人
3 月	図書館×まちサポ 「ビブリオバトル in しろい」	小学生～一般	ヤングアダルトコーナー	参加者 20 人 バトラー 4 人
総参加者数		245 人		

3) 郷土資料館利用状況調査

① 事業実施状況

郷土資料館では、以下のような展示、教育・普及事業を行っている。

(ア) 展示事業

【表 15 平成 30 年度 郷土資料館展示事業】

項 目		回数・時期	内容
常設展	通史	4 月 1 日～ 3 月 31 日	白井市の原始・古代から現在までの歴史を紹介
	白井の先駆者	4 月～3 月	[救護榮海大僧正、川上英太郎、石橋源四郎、富谷左衛門、井上筑後、川上右仲]パネル展示、小川瓦木収蔵作品（12 月に展示替え）
企画展	展示	7 月 21 日～ 10 月 7 日	「くらしの中の動物～身近なパートナーたち～」 4,125 人
	解説資料作成	7 月上旬	平成 30 年度企画展のリーフレット作成
古文書修補速報展示		通年（7 月～12 月を除く）	古文書の修補済史料の展示（年 2 回展示替え）
ミニ展示		1 月～3 月	「江戸時代の時刻と十二支」
総来場者数		13,011 人	

(イ) 教育・普及事業

【表 16 平成 30 年度 郷土資料館教育・普及事業】

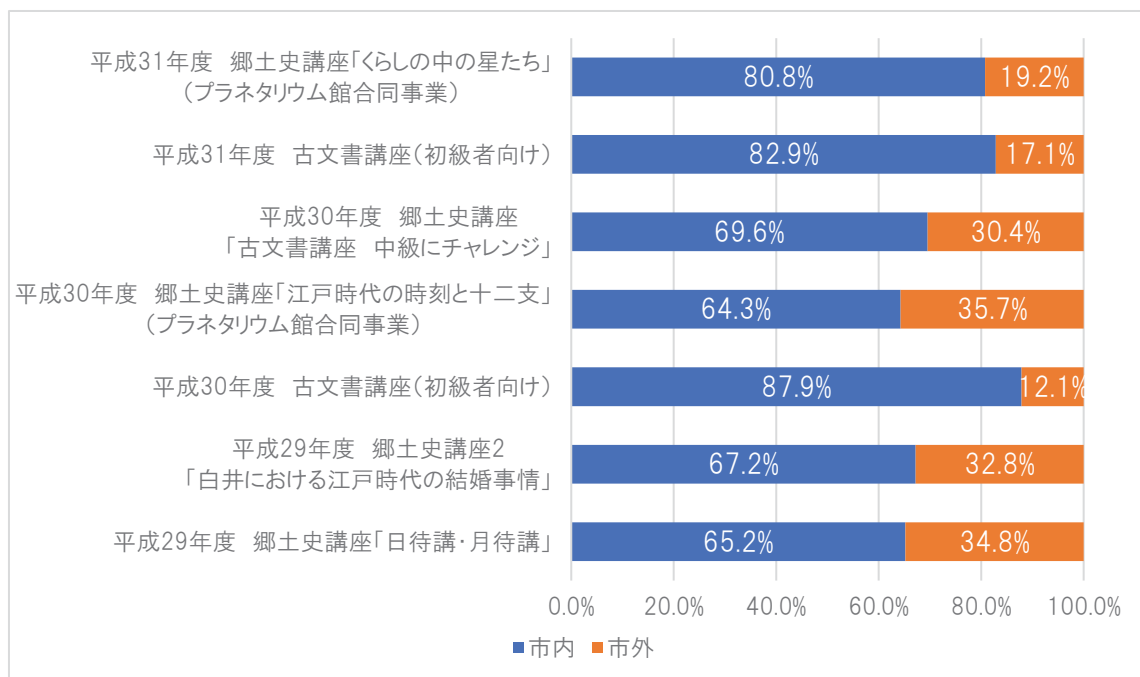
項 目		回数・時期	人数 (延べ)	備 考
古文書講座	初心者向け	全 3 回 (5/10, 17, 24)	64 人	「くずし字を読もう」 (参加者：21 人)
	初級者向け	全 5 (6/7, 7/12, 8/23, 9/27, 10/10)	153 人	資料代：実費(参加者：37 人)
体験教室	勾玉づくり	1 日 2 回開催 (8/21, 24)	42 人	材料費：100 円 「まが玉をつくろう」
	編布づくり	1 日 2 回開催 (8/28)	9 人	材料費：100 円 「縄文時代の布をつくろう」
	大福帳づくり	1 日 2 回開催 (8/29)	16 人	材料費：100 円 (市民学芸スタッフ 7 人含む)
	和本づくり	1 回 (3/9)	14 人	材料費：300 円 (市民学芸スタッフ 5 人含む)
企画展 関連	講演会	9 月 20 日	38 人	「競馬の歴史と競馬学校について」 講師：佐藤秀一氏
	ギャリートーク	9 月 1 日・13 日	6 人	参加費 無料
千葉県博図公連携事業巡回展		11/16～21	1,112 人	千葉県中央博物館、図書館と共催

郷土史講座①	2月16日	56人	「江戸時代の時刻と十二支」 プラネタリウム館と共催
郷土史講座②	3月14日	23人	「古文書講座 中級にチャレンジ」
郷土史講座③	3月16日	23人	「古文書講座 中級にチャレンジ」
団体見学の受け入れ	9回	402人	市内外小学校、歴史系団体等を対象
職業体験の受け入れ	6/28, 29	4人	大山口中学校
	6/26, 27	4人	七次台中学校
学習相談など	通 年	66人	来館者からの相談に応じる
職員の派遣	2回	46人	市主催講座等へ職員の派遣
総来場者数	2,078人		

② 自主事業来場者の属性

(ア) 市内市外の割合

郷土資料館で開催した講座の参加者について、市内、市外の統計をとっている講座についてのみ、集計を行った。主に市内の参加者が多いが、郷土史講座では、3割程度が市外参加者となっている。



【図 13 来場者の市内市外割合】

③ 講座実施時のアンケートにおけるご意見

改善点・要望		
ソフト面	運営について	・ 講座内容と違った質問をする人がいて時間をとられることがあり残念だった ・ 事前に資料配布してほしい ・ 質問の時間がほしい ・ 説明が長い
	プログラムの内容について	・ 古文書講座は今後も継続し、回数を増やすことも検討してほしい ・ 白井市で保管管理している古文書をインターネットで公開してほしい ・ 郷土史講座はしっかり時間をとって開催してほしい ・ 白井の歴史の講座をたくさんやってほしい ・ 題材は白井のものだけでなく、全国的に有名なものも取り上げてほしい

4) プラネタリウム館利用状況調査

① 年間の催しについて

平成 30 年度のプラネタリウムの事業実施状況は、以下のとおりとなっている。

- (ア) 一般向け投映
- (イ) 子供向け投映
- (ウ) 学習投映、幼児投映
- (エ) 子育てスタート応援事業
- (オ) 星空コンサート
- (カ) 星空朗読会
- (キ) 特別投映
- (ク) あなただけのプラネタリウム
- (ケ) 天体観望会
- (コ) 天文講演会・天文講座
- (サ) ちびっこ星の絵展

対象とする利用者やテーマを設定し、様々な事業を展開している。投映事業のなかでも、プラネタリウムで星を眺めるだけではなく、プラネタリウムでライブコンサートを行う

「星空コンサート」や参加者の希望に沿った投映を行う「あなただけのプラネタリウム」等、独自の取り組みも多数実施している。また、投映外事業として、天体観望会や天体講演会等も実施している。

プラネタリウムで絵本の読み聞かせを行う「にんさんぷラネタリウム with 図書館」など、図書館と連携したプログラムも実施している。

② 投映事業

(ア) 一般向け投映

名称	概要	来場者数
「ひので」が観た太陽 ※1	平成 30 年 4 月～4 月 8 日 太陽観測衛星「ひので」が観た太陽について	54 人
星座ミュージアム おうし座 ※1	平成 30 年 4 月～4 月 8 日 おうし座にまつわる物語や見逃せない星雲や星団、銀河などを解説	81 人
星座ミュージアム おおぐま座	平成 30 年 4 月 14 日～5 月 27 日 おおぐま座にまつわる物語や見逃せない星雲や星団、銀河などを解説	247 人
北総の四季 なしとほし	平成 30 年 4 月 14 日～5 月 27 日 北総台地の四季の変化と星空の移り変わりについて	153 人
星座ミュージアム さそり座	平成 30 年 6 月 2 日～6 月 30 日、8 月 1 日～9 月 2 日 さそり座にまつわる物語や見逃せない星雲や星団、銀河などを解説	613 人
火星大接近	平成 30 年 6 月 2 日～9 月 2 日 火星の大接近について	1,742 人
よもやま学園天文部	平成 30 年 9 月 8 日～11 月 25 日 よもやま学園天文部の 3 人が地球・月・太陽の大きさをそれぞれがどれくらい遠いのかを語り合う	284 人

星座ミュージアム みずがめ座	平成 30 年 9 月 8 日～11 月 25 日 みずがめ座にまつわる物語や見逃せない星雲や 星団、銀河などを解説	374 人
クリスマスミュージック とともに	平成 31 年 12 月 1 日～12 月 23 日 クリスマスの音楽とともに、冬の星空を紹介	202 人
今宵の星空散歩	平成 30 年 12 月 26 日～12 月 27 日 今宵と深夜の星空について注目の話題を織り交 ぜながら解説	41 人
ゆく星くる星	平成 31 年 1 月 5 日～1 月 27 日 今宵の星空の紹介をしつつ、2019 年の天文現象 のトピックスや注目の宇宙開発の話題を解説	237 人
アイヌの星	平成 31 年 2 月 2 日～4 月 14 日 アイヌ民族の固有の星座について、空に輝くアイ ヌの星座を紹介しながら、その星座に隠された物 語を解説	279 人
星座ミュージアム ふたご座	平成 31 年 2 月 2 日～4 月 14 日 ふたご座にまつわる物語や見逃せない星雲や星 団、銀河などを解説	279 人
総来場者数	4,586 人	

※1 番組の開始時期は平成 30 年 2 月だが、年度単位で集計しているため、来場者数は
平成 30 年 4 月からのデータを参照。

(イ)子ども向け投映

名称	概要	来場者数
ロイ君アワー わかるかな？宇宙クイズ ※1	平成 30 年 4 月～4 月 15 日 宇宙のクイズに挑戦	84 人
ロイ君アワー めざせ！火星マスター	平成 30 年 4 月 22 日～7 月 15 日 子ども向けに今夜の星空などを解説	527 人
ロイ君アワー 火星へ GO！	平成 30 年 7 月 21 日～9 月 30 日 火星はどんな星？火星人はいるのか？などの トピックスをやさしく解説	1,256 人
ほしぞらおはなしかい (図書館共催)	平成 30 年 8 月 1 日 図書館でおはなし会を開催	81 人
ロイ君アワー ぼくたち惑星 8 きょうだい	平成 30 年 10 月 7 日～11 月 25 日、 12 月 26 日～27 日、平成 31 年 1 月 6 日～2 月 24 日 太陽先生の授業で、惑星の順番や大きさ、性質 の違いを惑星 8 きょうだいの歌を歌いなが ら、楽しく学ぶ	427 人
子どもクリスマスアワー 2018	平成 30 年 12 月 1 日～12 月 23 日	342 人
子どもクリスマスアワー サンタさんがやってくる (図書館共催)	平成 30 年 12 月 9 日 プレゼントを持ったサンタさんが登場、図書館 での読み聞かせも同時開催	127 人

ロイ君アワー わかるかな？星座クイズ春 ～夏※2	平成 31 年 3 月 3 日～7 月 14 日 星座のクイズに挑戦	197 人
総来場者数	3,041 人	

※1 番組の開始時期は平成 30 年 1 月だが、年度単位で集計しているため、来場者数は平成 30 年 4 月からのデータを参照。

※2 番組の終了時期は平成 31 年 7 月だが、年度単位で集計しているため、来場者数は平成 31 年 3 月末までのデータを参照。

(ウ)学習投映、幼児投映

	回数	来場者数
学習投映	111 回	6,479 人
幼児投映	45 回	2,462 人
総来場者数	8,941 人	

(エ)子育てスタート応援事業

名称	概要	来場者数
ひよこプラネタリウム	平成 30 年 4 月、5 月、9 月、10 月、11 月 平成 31 年 2 月、3 月（14 回） 周りの観客に気を遣うことなく、親子で一緒に歌いながら楽しめる番組	500 人
にんさんぶらネタリウム with 図書館	平成 30 年 6 月、7 月、9 月、11 月 平成 31 年 2 月、3 月（6 回） 絵本の読み聞かせ、星の誕生のお話、星空と音楽を楽しむリラクゼーションプラネタリウム	50 人
総来場者数	550 人	

(オ)星空コンサート

名称	概要	来場者数
星空ライブコンサート フラダンスとウクレレ アロハ・フラ・ナニ	平成 30 年 4 月 22 日（1 回） フラダンス、ウクレレの演奏と星空の解説も合わせたライブコンサート	74 人
星空ライブコンサート 歌声プラネタリウム ゆうはる	平成 30 年 5 月 24 日（1 回） ゆうはる（クラリネット 渡辺治子・キーボード 大川由布子）の生演奏で歌いながら楽しむ「歌声プラネタリウム」	14 人
星空ライブコンサート 渡辺かづき	平成 30 年 6 月 10 日（1 回） ジャズピアニストの演奏によるライブコンサート	77 人
親子星空ライブ コンサート yumi ♪ imaki	平成 30 年 7 月 22 日（2 回） 楽器演奏と星空の解説を合わせたライブコンサート	198 人
星空ライブコンサート 歌声プラネタリウム	平成 30 年 9 月 20 日（1 回）	21 人

ゆうはる	ゆうはる(クラリネット 渡辺治子・キーボード 大川由布子)の生演奏で歌いながら楽しむ「歌声プラネタリウム」	
星空ライブコンサート ハープ弾き歌い 弟橘レイア	平成 30 年 10 月 28 日 (1 回) ハープ演奏、歌のライブコンサート	85 人
星空ライブコンサート 詩をうたう 2 石亀裕子&古田多真美	平成 31 年 3 月 21 日 (1 回) 音楽とともに人や季節を思う詩、励まされた詩などを朗読する「星空ライブコンサート」	77 人
プラチナアワー	平成 30 年 5 月、7 月、9 月、11 月 平成 31 年 1 月、3 月 (12 回) 慣れ親しんだ曲 (CD 音源) とともに、宇宙や天文のトピックスを解説 (シニア向け)	199 人
星空ジャズアワー	平成 30 年 10 月 (2 回) ジャズ (CD 音源) とともに星空を解説	31 人
星空クラシックアワー	平成 31 年 2 月 (2 回) クラシック (CD 音源) とともに星空を解説	27 人
総来場者数	803 人	

(カ) 星空朗読会

名称	概要	来場者数
朗読の会「もえぎ」	平成 30 年 12 月 7 日 (1 回)	54 人

(キ) 特別放映

名称	概要	来場者数
子どもイベント放映 「星空のリズム」	平成 30 年 5 月 6 日 (2 回) 子ども向けの参加型特別放映。星座を見ながら手作り楽器の演奏を楽しむイベント	133 人
熟睡プラ寝たりウム	平成 30 年 11 月 23 日 (2 回) 勤労感謝の日に合わせて、勤労者の皆さんにひと時の安らぐ休息をプレゼント	136 人
星空とともに (仙台市天文台制作)	平成 31 年 3 月 2 日 (1 回) 震災後に仙台の新聞社やブログに寄せられた震災時の星空の記憶を留めた番組	32 人
星よりも遠くへ (仙台市天文台制作)	平成 31 年 3 月 9 日 (土) (1 回) 震災後に仙台の新聞社やブログに寄せられた震災時の星空の記憶を留めた番組	76 人
総来場者数	377 人	

(ク) あなただけのプラネタリウム

概要	来場者数
1 回約 30 分間 行きたい場所、季節、時刻等の希望に沿って放映をセッティング。 家族や友人、おひとりだけの放映も実施。	19 組 105 人

③ 投映外事業
(ケ)天体観望会

名称	概要	来場者数
星見会	平成 30 年 4 月、5 月、6 月、8 月、9 月、10 月、11 月、12 月、平成 31 年 1 月、2 月、3 月(14 回) プラネタリウムで今夜の星空や最近の宇宙天文の話題を解説した後、文化センターの屋上にて実際の空で星を探し、望遠鏡を使って月、金星、木星などを観望	360 人
特別観望会 火星を見る会(星見会)	平成 30 年 7 月 28 日、7 月 31 日、8 月 4 日 プラネタリウムで火星やその他天文トピックスの解説後、文化センター屋上にて実際の空で望遠鏡を使って火星を中心に観望	554 人
昼間の星を見る会	平成 30 年 4 月、5 月、11 月、3 月 (4 回)	265 人
出張観望会 ほくそう春まつり	平成 30 年 4 月 22 日	不明
出張観望会 北総花の丘公園	平成 30 年 8 月 18 日 (1 回)	31 人
出張観望会 白井第三小学校家庭教育学級	平成 30 年 1 月 18 日 (1 回)	58 人
総来場者数	1,268 人(不明を除く)	

(コ)天文講演会・天文講座

名称	概要	来場者数
天文講演会 「火星に向けて GO!」	平成 30 年 7 月 7 日 (1 回) 講師に石亀一郎(株式会社インフォステラ C00)を迎えた講演会	77 人
プラネタリウムの仕組み を知ってプラネタリウム を動かそう	平成 30 年 7 月 31 日 (1 回) ドーム内で光学式プラネタリウムの仕組みを学んだ後、プラネタリウムの操作を行う	10 人
ちょっと知りたい大人の ための天文教室	平成 30 年 4 月、5 月、7 月、9 月、10 月、11 月 (6 回) 「赤い星・青い星、そして、あなたは白井星?!」というテーマについての講座	205 人
スター・キッズ・ クラブ	平成 30 年 5 月、6 月、7 月、9 月、10 月、12 月、1 月 (7 回) 「赤い星・青い星・白い星?!」というテーマについて全 7 回の講座を開催	253 人
望遠鏡を作ろう	平成 30 年 7 月 21 日 (1 回)	26 人
郷土史講座+天文講座 「江戸時代の時刻と十二支」	平成 31 年 2 月 16 日 (1 回) ※郷土資料館共催	56 人
総来場者数	627 人	

(サ)ちびっこ星の絵展

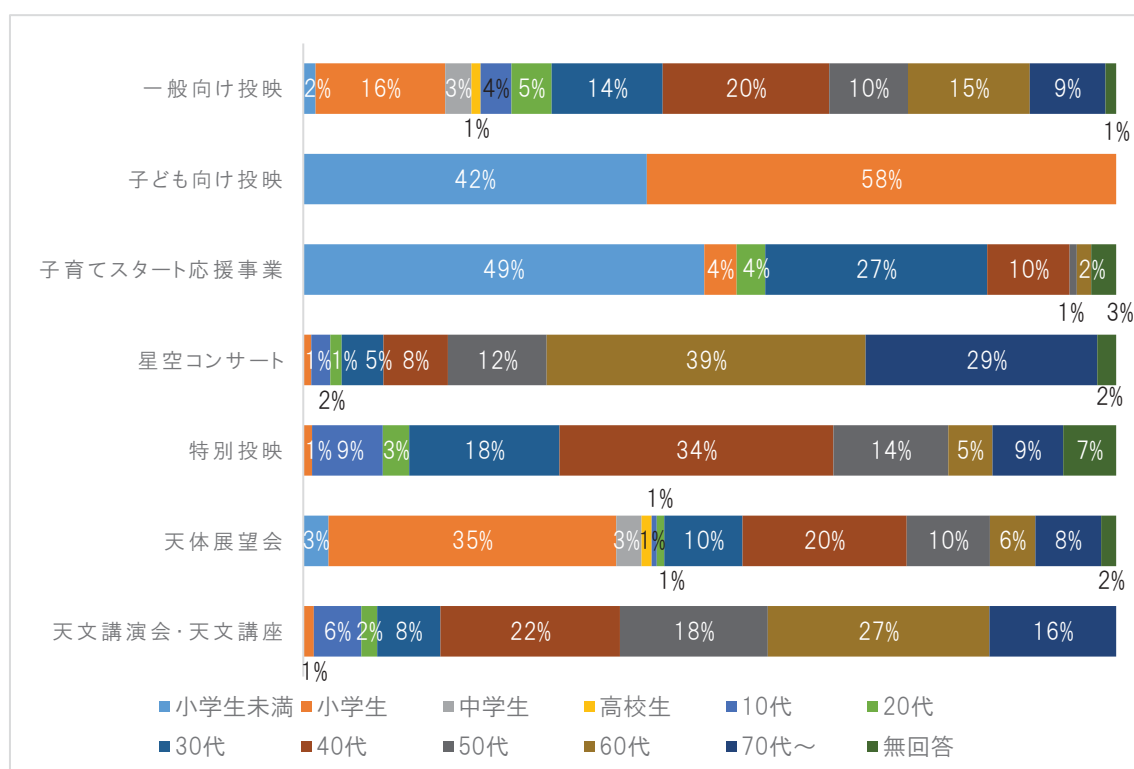
概要
平成 30 年 7 月 21 日～9 月 2 日 宝幼稚園・南山保育園・清水口保育園・桜台保育園

④ 来場者の属性、傾向について

平成 30 年度の事業（アンケートを実施しているもののみ）について、来場者の属性、傾向等について調査を行った。なお、グラフはデータを四捨五入しているため、内訳の合計が 100%にならない場合がある。

(ア) 来場者の年代

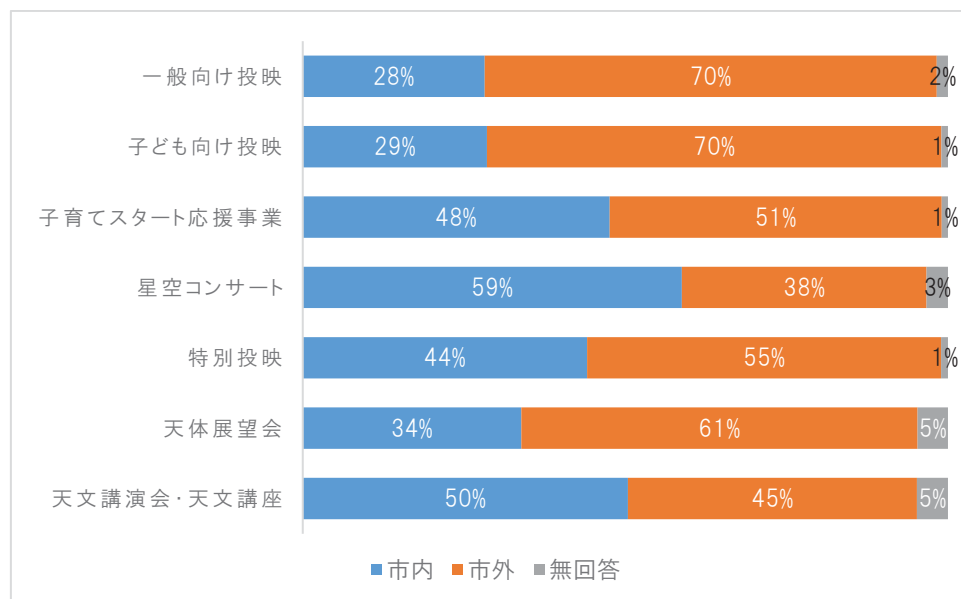
事業、プログラムによって、来場者の年代は異なる。対象を限定していない一般投映や天体観望会では、幅広い年代が来場しており、親子や祖父母と子どもといった家族での利用もうかがえる。このほか、子ども向け事業、親子を対象とした事業では学齢未満の年代と 30 代、40 代が多く、天文講演会・天文講座では 40 代以上、星空のコンサートでは 60 代、70 代以上が多い傾向がみられる。



【図 14 事業別の来場者の年代】

(イ)来場者のお住まい

来場者の居住地は事業ごとに多少の違いはあるが、市内が3割から6割、市外が4割から7割となっている。市外から白井に来てもらうという視点では有効性がある。



【図 15 事業別の来場者のお住まい】